

第5回高山グローバルサマーフェスタ

8月5日（月）～8日（木） 愛知県立旭丘高等学校主催（協力 中部経済連合会 高山市 飛騨市）の学習会で、旭丘高等学校、富山県立高岡高等学校、名城大学附属高等学校、本校の4校から31名が参加し、岐阜県高山市、飛騨市を舞台に3泊4日の日程で行われました。本校からは1年生2名が参加しました。宿泊は旭丘高校林間学舎に2泊、市内の観光旅館に1泊しました。

8月5日（月） 出発～飛騨市～旭丘林間学舎

●フォーラム①

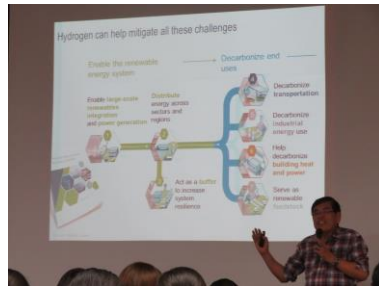
「グローバルを飛騨から考える」（働く意味、お金の意味） 株式会社 eumo 代表取締役 新井和宏 氏

●フォーラム②

「最近話題の水素社会 水素で社会が変わるのか？」 トヨタ自動車 広瀬雄彦 氏

●ワークショップ①

飛騨のグローバルな活動を学ぶ



初日は、高岡高校以外のメンバーが尾張一宮駅に集合しバスにて飛騨まで移動しました。バス内にてアイスブレイクを行いこれから共に過ごすメンバーと交流をはかりました。飛騨に到着すると、飛騨市におけるグローバルな取り組みについて講演を聴いたり、ワークショップを行いました。最後は学舎へ移動し、就寝前に1日の振り返り（リフレクション）を行いました。

8月6日（火） 旭丘林間学舎及び公民館

・セミナー①②

セミナーリーダー（大学生や大学院生）や外国人留学生在が自分の専門分野に関して、グループの高校生にレクチャーし、アクティブラーニング的に展開しました。今年度は7つのセミナーに分かれて実施しました。

- 1 Asian Films and Social Business
- 2 How to be a Global Leader in 21st century
- 3 The Evolution of American Sitcom: Diversity and Political Correctness
- 4 Scientific Research and Global Society
- 5 How to make sustainable society?
- 6 JAPANESE BUSINESS IN AFRICA AND CULTURES OF CHINESE CUISINE

7 Images, what are you talking about?

「研究することはどういうことか?」「グローバルをどれだけ意識しているか?」などセミナーリーダーの研究分野における話題を中心に話し合いました。



・フォーラム③→ワークショップ②

「藻湯から化粧品を作る」

(株)デンソー社会ソリューション事業推進部長 渥美欣也氏

～「ものづくり」という語の精神性を理解し開発リーダーに不可欠な要素を学ぶ

「高校生の頃から起業しよう！起業は難しくないし、怖くない！日本の未来を作るのは君たちだ！」

アライブ株式会社代表取締役 三輪尚士氏

～起業し、海外進出するとはどういうことか、語学力とは何かを理解する

「人生戦略と職業」

経営塾「大阪塾」主宰・元ケーズデンキ社長 大阪 靖彦氏

～挫折を乗り越え、夢を実現するための具体的な考え方や物事のとらえ方を学ぶ

「香道」

香道研究家 荻須昭大氏

～伝統文化を通して日本固有のことがらに触れる



様々なグループに分かれて分野の第一線で活躍する講師陣による講義。多様な世界があることを実感しました。講義を聞いた後、グループ内で講義の内容を共有しました。

・ワークショップ③

「高山学」 前田さん・丸山さん（高山市役所）

高山市の現状を説明していただき、高山市の課題と可能性について若者の視点から考え、プレゼンテーションを行いました。



2日目は、主として林間学舎でセミナーリーダー、留学生からのレクチャー、その道の専門家からのレクチャー、さらには「高山学」として高山をどのように活性化させるかのワークショップなど盛りだくさんの内容でした。

8月7日（水） 旭丘林間学舎～高山まちの博物館～四反田（旅館）

・セミナー③

セミナーリーダー（大学院生や社会人）や外国人留学生からのレクチャーのまとめ

・フォーラム④&ワークショップ④

「リーダーシップと合意形成」

県立広島大学大学院教授 百武ひろ子 氏

高山まちの博物館で「合意形成」をどのようにはかっていくかのレクチャーから各グループに「最強のチーム作りのためのスローガン」を作成する課題が与えられ、セミナー班とは違うメンバーを作り、それぞれのグループ発表を行いました。



・ワークショップ⑤

旅館に移動後、留学生と教員で「日本と各国の学校教育の違い」について英語で聞き、英語でプレゼン発表を行いました。教員も参加し、英語で生徒達に各国の学校教育はどのように違うのかを伝え、発表をし合いました。



・ワークショップ⑥

翌日のインテグレーションの準備を班ごとに行いました。夜遅くまで真剣に今回のフェスタの内容を自分たちで振り返ることができました。

林間学舎から高山市内へ移動し、百武先生のワークショップ、宿泊所の四反田では英語のプレゼン、翌日のインテグレーションの準備など、慌ただしさもありつつ楽しんで交流を深めました。

8月8日(木) 四反田(旅館)～高山市内～帰着

・インテグレーション

これまでこのフェスタで学んだことを班ごとにまとめ、発表しました。



・ワークショップ⑦

「挾土秀平氏工房探訪」

左官技能士 挾土秀平氏

～職人のプロ意識、考え方に触れる。効率最優先の社会において、自国文化とどう向き合っていくべきなのか、外国との文化意識の違いにも触れ、「効率化」・「合理化」・「文化」・「自然」との関係性についても考える



日本を代表する左官技能士である挾土氏に、自身の考え方等を熱弁していただきました。

・高山市内研修（飛騨高山美術館など）

生活班ごとに市内観光。留学生と行動を共にしたり、外国人観光客とコミュニケーションをとりました。その後高山市役所にてクロージングセレモニーを行いました。



全体を通して

4日間という短い期間でしたが、生徒達は非常によく交流をすることができたと思います。「グローバルリーダーになるためには何が必要か。」そのことについて真剣に向き合って考えたのはこの機会が初めてであった生徒もいると思います。様々な講義やワークショップを通して、自分が今後グローバル化する社会で生きていくためには、今回のフェスタで学んだことを活かす必要がある。今後、そう振り返ってもらえたらと思います。